

English Logic and Expression I・II・III
Smart/Clear
be

論理・表現 I・II・III

	Smart	Clear
レベル	標準～発展	標準
判型	B5判	
本文 I	152頁	
本文 II	128頁	120頁
本文 III	120頁	112頁

Smart

- 論 I 718
- 論 II 717
- 論 III 713

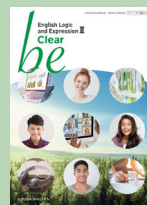


詳細は HP へ



Clear

- 論 I 717
- 論 II 716
- 論 III 712



著者 : 平賀 正子 立教大学名誉教授
 : 伊藤 清 名古屋中学校・高等学校教諭
 : 田中 孝典 静岡県立焼津中央高等学校教諭

鈴木 希明 中京大学特任講師
 川又 克己 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
 谷口 幸夫 明星大学講師・達セミ Hybrid 代表

萱原 雅弘 元東京家政学院大学教授
 前中 猛 白陵中学校・高等学校教諭

著者の
メッセージ

コミュニケーションにつながる発信力を！

中京大学特任講師 鈴木 希明

発信のための基礎力の定着を

「論理・表現」は、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」という3つの領域を中心に、発信力の強化を目指す科目です。

英語で発信できるようにするためには、意味を伝える文をつくる力が必要です。英語の文をつくるために必要なのは、「語彙」と「文法」です。be English Logic and Expression I・II・III Smart/Clearでは、多くの英文と、各レッスンに設定したさまざまなテーマにふれることで、多岐にわたる語彙の習得と、体系的な文法学習ができるようになっています。

英語の文をつくる基礎力とともに、発信に必要な発音や機能表現も学習します。文をつくることができても、正しい発音やイントネーションの知識がなければ、相手に意味が伝わるように話すことはできません。正しい発音を知らないと、相手の話を聞いて理解することもできません。また、自分が伝えたいことを話すだけでは一方通行になってしまいます。

双方向のコミュニケーションを成り立たせるためには、よい聞き手となることも大切です。相手の話の内容について質問したり、感想を述べたり、あいづちなどの機能表現を使ったりして、そこで行われているコミュニケーション活動への意欲や興味を示すことも欠かせないのです。

活動を通して発信力強化を

be English Logic and Expression Smart/Clear は、**FESTIVAL** というシステムで、言語活動を通して英語の基礎力と発信力を養成できるようにしています。

例えば I では、**FORMS** で英語の形式を理解・定着させ、**EXPRESSIONS** でコミュニケーションに必要な機能表現を学びます。**SOUNDS** では話したり聞いたりするときに必要な発音やイントネーションの基礎を確認します。**TALK** は **FORMS**, **EXPRESSIONS**, **SOUNDS** を確認・定着させるための「話す」練習です。さらに、**INTERACTIONS** では言語活動をしながら、体系的に英語の形式を身につけ、発信につながるようにします。**VOCABULARY** は活動の支援となる語彙リストです。システムの最後は **ACTIVE LEARNING** です。**SHARE** と **WRITE** という2つの活動を通して、**INTERACTIONS** で身につけた発信力をさらに強化します。最後の L は **LOGICAL THINKING** と **LOGICAL WRITING** の L でもあります。論理的に考え、論理的に伝えることを意識する習慣をつけるようにします。

このようなシステムによる学習を通して、生徒は英語の基礎力と発信力をつけ、コミュニケーションの意義と楽しさを体験できることでしょう。